

令和元年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）				整理番号	6 - 2 - 22
事務事業名	ミリカホール自主公演事業			担当課係	保健センター 管理係
総合計画上の位置付け	政策	②ひとりひとりが輝けるまちづくり		記入担当者	廣瀬寛之
	基本目標	6. 心豊かなひとづくり		内線等	32-3565
	施策	6-1 教育の充実と文化の振興		E-mail	myricahall@city.komatsushima.lg.jp
	基本方針	6-1-4 芸術・文化活動の充実			
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）			事業区分	経常事業
事業予算費目	款	4	衛生費	項	1 保健衛生費
	目	6	ミリカホール費	事業	3 自主公演事業
開始年度	平成11	年度	根拠法令・要綱等	小松島市多目的ホール条例	

事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） 小松島市及び近隣市町村住民等、入場者全般
事業の目的 （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 舞台芸術や音楽鑑賞をはじめとした様々な芸術文化活動や催しを行うことにより、芸術・文化の振興を図り、市民の文化レベルの向上や心の癒しとなることに努める。
事業の内容 （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） ホール運営に関する有識者による小松島市多目的ホール運営委員会を開き、自主公演事業や共催事業を含めたホール運営に係る事項について審議し、決定する。
事業の背景 （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 平成11年に舞台芸術や演奏会などの催しを開催するための本格的な多目的ホールが完成したのを契機に、国内外で活躍している著名な演奏家等を招いて室内楽コンサートや助成事業を活用しての公演など、様々なイベントを企画している。

■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名			指標の説明				指標化できない成果
	自主事業入場者数			自主事業実施時の入場者の延べ人数				
	単位	H30	R1	R2	R3	目標年度 目標値		
人	目標	3,080	3,080	3,080	3,080	自主事業×308席	催し物の内容やスタッフの対応（ソフト面）、施設・設備に対する利用者の満足度（ハード面）	
	実績	844	1,197					
	達成度	27.4%	38.9%					
活動実績・参考となる指標	指標名		単位	H30	R1	R2	R3	指標の説明
	自主公演事業収入	計画	円	370,000	225,000	225,000	225,000	計画は当初予算額 実績は決算額による。
		実績		307,700	929,400			
	自主事業開催（共催事業）回数	計画	日	17	14	16	16	
		実績		9(7)	9(5)			
		計画						
実績								

■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

		H30年度決算	R1年度決算	R1年度予算	R2年度予算	
全体コスト （円）	関連事業費	A 直接事業費	1,501,561	1,851,145	2,436,000	1,694,000
		財源内訳				
		国県支出金				
		地方債				
		利用者負担	307,700	929,400		
	B	7,455,169	8,471,720			
	人件費 ①×②					
	職員平均人件費①	8,283,521	8,471,720			
	従事した割合②/人	0.90	1.00			
	A + B	8,956,730	10,322,865			
単位コスト	活動指標の説明	全体コスト/自主事業回数	全体コスト/自主事業回数		備考	
	活動指標1 単位当たりコスト	559,796	737,348		平成30年4月1日現在 人口38,156人	
	市民一人あたりのコスト	235	273		平成31年4月1日現在 人口37,795人	

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 国・地方公共団体における、芸術・文化の振興に係る予算は非常に限られたものになっていくことが懸念され、限られた予算の中で、魅力ある事業を企画することが必要とされる。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、演者、利用者とも影響を受けることが必須で今後の事業展開がどのような形になるのか予測不能である。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 事業実施時にアンケート調査を実施し、利用者のニーズを把握に努めている。アンケートには「非常によかった」「よかった」などの回答が多数寄せられるにも関わらず、入場者数は伸びていない。低予算と限られた人員の中で、利用者の満足度向上と集客数増につながる催し物を模索する。また、上記でも触れているが新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い事業実施に対しての住民の不安が大きい。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	小松島市は当館以外に音楽ホールがなく、身近に音楽や芸術に直接触れる機会が少ない。助成事業の活用により、国内外で活躍する一流の演奏家の公演を提供しており、同様の企画に対するニーズは高い。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="radio"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	当ホールは、地域に芸術・文化を享受する土壌を創り、市民にとってのコミュニティー施設としての場を提供することが重要であり、市が実施することが妥当である。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="radio"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいか、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	自主事業の運営は、音響・照明も含め、必要最小限のスタッフで実施している。更に、事業費の削減を図るため、共催事業の実施や助成事業を積極的に活用している。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="radio"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	緊急性は高いものではないが、人々が集い、感動と希望をもたらす、生きる活力を与える場所である。市民の教養を醸成することも目的の一つであることから、今後も実施、継続していくことが重要である。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="radio"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	安価で気軽に楽しめるよう料金・公演時間を設定し、新たな顧客獲得を狙うとともに芸術文化の普及を図った。芸術文化の振興が目的であるため、短期間での成果の実現は難しいところではあるが、何れ形として現れてくるよう計画的・継続的に事業の実施を図っていく。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="radio"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	実演芸術団体の活動拠点が大都市圏に集中しており、相対的に地方では多彩な芸術に触れる機会が少ない。娯楽の嗜好や多様化が進む中、地方の公営ホールでのイベント集客は困難である。本市、周辺のホールが指定管理者制度を導入して大規模な宣伝・広報活動を行っており、また出演者も豪華でメジャーなアーティストを呼び等、集客に力をいれていることが伺える。当ホールにおいては、地元密着型のホールとして、市民にもっと身近に文化・芸術に触れられるホールを目指し、魅力ある事業を展開していくことが望ましい。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	80 点 以上	評価点による判定	判定に至った理由	新型コロナウイルス感染症の影響を受け事業自体の開催が困難な状況であるが、文化・芸術の振興のため、創意工夫をもって、自主事業の開催に向けて積極的に情報を発信していくこと。		
		2 現状のまま継続する	60 ~ 79 点					
		3 改善・効率化し継続	40 ~ 59 点				評価点	65
		4 終期設定し終了	20 ~ 39 点				2	
		5 完了・休止・廃止	19 点 以下					

■改善・効率化の方向性 ※一次評価の判定が3の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容 (方向性・対象・手段等について記述)】

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	判定説明	ミリカホールは、小松島市の文化振興の拠点施設であり、その果たす役割は重要である。事業の実施には、利用者のニーズに答えながら小松島市ならではの企画も検討し、低予算で魅力的な事業を展開するために近隣市町村のホールとの連携を図っていくことが必要である。今後については、新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、如何にしてホールに無関心な層のニーズを把握し、足を運んでもらうかが重要となってくる。
		2 現状のまま継続する		
		3 改善・効率化し継続		
		4 終期設定し終了		
		5 完了・休止・廃止		